

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	狭い空間なので、パーテーションで区切りスペースの確保をしています。	療育の際は、声の大きさや空間の使い方に配慮し支援いたします。
	②	職員の配置数は適切である	6			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	2階でありバリアフリーではありませんが、階段には手すりを設置、必ず職員が付き添いをして移動、空間での注意点はイラスト等で視覚的に伝えるよう配慮しています。	必要な設備の点検や改善点は、職員間で話し合い、迅速に対応できるようにしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		保護者様以外の第三者の評価がないため、今後は第三者委員会などの検討も必要と思います。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月の研修は複数日の設定があるため、全職員が参加できるようにシフ	

				トを組んでいます。		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		NCプログラムのツールを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員同士で共有しながらプログラム立案をしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		複数担当で、情報共有しながら活動プログラムの工夫を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		長期休みで朝から支援が入っている時は、時間を変更し、全員が揃う中でミーティングを行うようにしています。	打合せを行うとともにPCのアプリにも共有すべき事を入力し、公休の職員の確認漏れが無いように徹底します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6	翌日の朝礼・ミーティングで情報共有をしています。	シフト制のため、確認漏れが無いように、利用しているアプリも使って共有いたします。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管が参加しています。会議後は全職員に共有しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行っています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				非該当
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				非該当
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行っています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行っています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行い、その中で行われている研修に参加しています。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、交流の機会を持ちたいと思います。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			新型コロナウイルス感染症対策でフィードバックの時間を短縮しているため、少しずつ時間を延ばしていきたいと考えています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		勉強会等を行っています。	参加がまだ少ないため、開催の日時や周知の仕方に工夫が必要と感じます。定期的に会報等でお知らせいたします。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	保護者会が無い ため活動の支援は行っていませんが、茶話会等のイベントで保護者様の交流の支援をしています。	今後、保護者様の要望がありましたら活動の支援をして参ります。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		会報はありませんが、行事の都度お知らせを配布、また、LINEでのお知らせをしています。	今後は、定期的な会報を発行し、情報の発信を分かりやすい形で行います。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	地域の方を招待はしていませんが、地域の商店の方にご協力いただきました。商品の袋に利用者様の描いた絵のシールを貼っていただき、買い物の活動を行いました。	今後は、招待しての活動も考えていきたいと、思います。感染症対策に配慮しながら実施できるように計画いたします。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		月1回行っています。多くのお子さまに参加していただけるよう、前部の利用時間で実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		聞き取りを行い確認、処方箋等もコピーさせていただいています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		食事提供ありません。買い物外出等の際はその都度確認し、個別に対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校 保護者等数（児童数）：12 回収数：10 割合： 83.3%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		2			2階でありバリアフリーではありませんが、階段には手すりを設置、必ず職員が付き添いをしながら移動、空間での注意点はイラスト等で視覚的に伝えるよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			3		児童発達支援ガイドラインを、見学時や契約時に説明を行い、ご理解いただけるように支援計画・支援内容の説明をいたします。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1		2		支援は複数担当で行っています。指導員が情報共有しながら活動プログラムの工夫を行っていることを、目に見える形でお知

							らせして参ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		7	園で色んな子と活動しているので必要ないと思う。	感染症対策もあり、活動は行っていませんが、交流しての機会が可能になりましたら、保護者様に確認しながら実施したいと考えております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8		2		見学や契約時等に児童発達支援ガイドラインを理解していただく機会を作り、説明を行った上で支援内容の説明を行います。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8		2		保護者様支援として様々なイベントを行っておりますが、周知の所が不足していると思いますので、会報等で定期的にお知らせし、沢山の保護者様に参加いただける日程の設定等工夫し、実施いたします。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9		1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8		2	悩みや相談にいつも乗ってもらってありがたいです。	気軽に相談できるよう、定期的な面談を行って参ります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7		3		父母の会が無いため活動の支援は行っていませんが、茶話会等のイベントで保護者様の交流の支援をしています。参加者が少ないこともあり、

							周知の仕方を工夫いたします。
	⑩	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9			1	シフト勤務のため、相談や申し入れがあった際にお待たせしないよう全職員が対応できるように研修等を行って参ります。
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1			
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9			1	お知らせは必要な時に随時行い、LINEの活用も行っておりますが、今後は会報を定期的に配布することを職員間で話し合いました。
	⑬	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10				
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8			2	マニュアルの掲示の仕方を工夫し、ご理解いただけるようにして参ります。
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			3	毎月、様々な災害を想定しての避難訓練を実施し、様子を掲示しています。今後は定期的に会報で実施の状況をお知らせし、ご理解いただけるよう周知いたします。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	10				自ら進んで行こうとするくらい楽しみにしています。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	10				今後も楽しんで通所いただけるよう、沢山の教材・活動を研究し用意いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。